

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 名古屋市立汐路中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒467-0006
名古屋市瑞穂区御荻町4の16

E-mail : shioji-j@nagoya-c.ed.jp
 Website : www.shioji-j.nagoya-c.ed.jp/

児童生徒数：男子 277名 女子 264名 合計 541
 名

児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (福祉)

4. 活動内容

- (1) 1年間の主な活動内容について記載願います。
 ※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

○ 聴覚障害教室について

1年生で開催をし、聴覚障害の方からの講話を聴き学習をした。各学級に二人ずつ来ていただき、一人は聴覚障害の方、もう一人は手話のできる方である。生徒は、聴覚障害の方から日常生活の中で困難に感じたことや不自由なことについての体験談を直接聴き、生徒からは、手話の出来る方を通して質問をし、交流を行った。生徒は、自分たちにできることは何か、普段の生活の中でできる支援とは何かを考えたり、手話についての理解を深めたりすることができた。

○ 高齢者疑似体験について

1年生で開催をした。福祉協議会から装具を借りて高齢者疑似体験を行ったり、高齢者の方からの講演を聴いたりした。生徒は、体験や講話から高齢者の方の気持ちを理解することができ、高齢者の方との接し方について考えるとともに、誰もが過ごしやすい社会づくりの大切さについて気付くことができた。

○ 車椅子体験学習について

2年生で開催をした。車椅子の乗り降りや介助の仕方などについての講演会を聴いたり、40台の車椅子を借りて、障がいのある方の視線で学区を巡る体験学習を行ったりした。生徒は車椅子に乗る役や介助する役を交代で行い、自分がふだん何気なく生活をしている地域が、実は車椅子で生活をしている人にとって不便な場所があることを感じるとともに、車椅子で移動するときの怖さを実感し、困っている人に対して声を掛けたり手伝ったりすることの大切さや、誰もが過ごしやすい社会づくりの大切さについて気付くことができた。

○ 盲導犬体験学習について

2・3年生で別々の日に開催をした。中部盲導犬協会に依頼をし、生徒は講演を聴き、一部生徒が視覚障害者として盲導犬との体験歩行をした。生徒は、目が見えないことについての不便さや怖さについて知ることができ、視覚障害者の方との接し方について考えるとともに、誰もが過ごしやすい社会づくりの大切さについて気付くことができた。

これらの活動を通して、生徒は相手を思いやることの大切さ、誰もが過ごしやすい社会をつくっていくことの大切さなどについて考えることができた。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()